

たろ

TAKUSUI
No. 716

6

June.2016

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



明石市立天文科学館 (明石市)

華姫さわら祭り 開催 各団体 通常総会

《今月の海上安全標語》～ 見張りは大事！～
海難事故の多くは見張り不十分だと言われています。
機械まかせにしないで、自分の命、自分で守ろう！

見張りしよ! 計器まかせは 事故のもと では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるとききの号令として使われる)

私は「ノブちゃん」!?

一般財団法人兵庫県水産振興基金主任 **西 詰 宗 弘**



私は学生時代に長野県松本市に住んでいた。この地域で「…ですか?」を表す方言で「…ずら?」がある。初めて聞いた時に微笑ましく感じたことを覚えている。

ある日、家族が遊びに来たので、安曇野にある人気の蕎麦屋へ連れて行った。食事を終え、レジに向かうと、店の人が「ノブちゃんずら?」と声を掛けられた。

人違いだと思いい、「ちがいますよ」

翌日、家族と松本市内の温泉へ。下宿には風呂が無く、普段から近所の銭湯や温泉を巡っていたなか、この温泉はこじんまりしているが、下宿に近く、当時の入浴料八十円ということもあってお気に入り。私は先に湯から上がり、外で待っていた。ふと見ると腰がほぼ直角に曲がったお婆さんが乳母車をゴロゴロ押して歩いてくる。こちらに近寄ってきた彼女は、いつ私の顔を見たのか、すれ違いざまにこう言った。

「ノブちゃんずら?」

あれ? 「ちがいますよ」

暫くしてからのこと。場所は松本駅前のとんかつ屋。

頑張った自分へのご褒美としてバイト帰りに一人で入った。時々訪れるこの店は、いかにも職人気質のコック帽を被った主人がいつも無愛想に調理し、愛想のよい奥さんは接客を担当していた。

この日、奥さんが、お茶も持ってくるなり話しかけてきた。

「もしかして、○▲※ノブユキさんですか?」

えっ!? 「ちがいますよ」

何とも言えない笑顔で答える私。奥さんはバツ悪そうに「とてもよく似ていらっしやっただから。ねえ?」と主人の方を向くと、そこにはキャベツを刻みつつ、ほんの少し口元が緩めて、無言で領く主人の顔があった。

「ノブちゃん」は果たして誰なのか?

あれから20年以上経てもなお、私の中で謎の人物である。この話をするテレビ番組に投稿したらと言われたりするが、よく考えてみると、このまま「ノブちゃん」と思いつく中で付き合っていくほうが、ずっと楽しいのではないか。真実は知ってしまふと興ざめすることも多々あるし、まして、謎だからといって全てを明らかにする必要はないであろう。

「自分によく似た人が世の中に三人いる」というが、あと一人はどこにいるのか…。謎は謎のままが良い。

CONTENTS

No.716 June. 2016

- 2 ようこそ
- 3 吉岡 修一理事長 急逝される
改正瀬戸法に対応した播磨灘等環境保全協議会発足
- 4 山田 隆義氏「環境保全功労者知事表彰」受賞
「華姫さわら」をPR
- 5 淡路水交会通常総会
淡路地区漁協青壮年部連合会通常総会
- 6 淡路地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会通常総会
- 7 水産多面的機能発揮対策講習会
参議院議員「末松信介」氏(兵庫) 副会長就任
- 8 ガザミふやそう会 会員募集
明石市商工会議所議員に対し漁業の役割について講演
- 9 漁網の切断事故が続いています
大輪田塾 第12期生 募集
- 10 命を守る運動担当者会議
海難事故をなくそう
- 11 兵庫JCC通信
- 12 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「明石市立天文科学館」(明石市)

6月10日の「時の記念日」にちなんで、表紙の写真は、東経135度を通る明石市立天文科学館です。

天智天皇が671年に漏刻(ろうこく)という水時計を設置し、人々に初めて時を知らせたとされる日が6月10日であったため、1920年に、日本国民へ「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」と呼びかけ、時間の大切さを尊重する意識を広めるために東京天文台(現・国立天文台)と財団法人「生活改善同盟会」によってこの日が制定されました。

「欧米並みに…」と始まった取組みのお陰か、今や鉄道、飛行機などの運行では世界でも類を見ないほどの正確さを誇っています。これは国民性だけでなく、時間の大切さを広める運動が根付いたからなのでしょうね。



吉岡 修一理事長 急逝される

～兵庫のみならず我が国漁業へも多大な貢献～

吉岡 修一氏（JF但馬・兵庫県漁業信用基金協会理事長）が、5月17日午後逝去されました。この日、同協会理事会終了後に、韓国で行われる日韓漁業協議に出席するために向かった関西国際空港で倒れられたとのことです。享年79歳。

吉岡氏は長きに渡りJF香住町およびJF但馬代表理事組合長として尽力され、平成19年には津居山港・竹野浜・柴山港・香住町の4JF合併に貢献されました。また、県内系統団体においても兵庫県漁業共済組合長理事、兵庫県JF共済推進本部長、但馬漁船保険組合長理事をはじめ、但馬海区漁業調整委員長、兵庫県機船底曳網漁業協会会長などを歴任し、兵庫の漁業界のリーダーとして手腕を発揮されました。さらに、平成22年に全国共済水産業協同組合連合会代表理事会長、平成25年には全国底曳網漁業連合会長理事に就任されるなど、兵庫に留まらず全国でも活躍されるとともに、日韓漁業問題においても交渉の先頭に立ち、日本海漁業の秩序・安定に大きな功績を残されるなど、我が国漁業の発展に寄与されてこられました。これらの功績が認められ、平成19年に旭日双光章、平成26年には旭日中綬章と2度に亘って叙勲を受章されました。

葬儀は5月21日（土）香美町香住区の寺院においてしめやかに執り行われ、兵庫県 井戸敏三知事をはじめ全国から約700人の関係者が駆けつけ、故人の冥福を祈りました。

改正瀬戸法に対応した

播磨灘等環境保全協議会が発足

「豊かな海を目指す協議始まる」

5月9日（月）、播磨灘等環境保全協議会が姫路市内のホテルで開催されました。

この協議会は、瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するために、昨年10月に改正された瀬戸内海環境保全特別措置法（改正瀬戸法）によって、湾灘協議会の設置が推奨されたことを受け、その趣旨に添い、播磨灘に関する会として、この度新たに設立されました。具体的には、改正瀬戸法に基づく「瀬戸内海の環境の保全に関する兵庫県計画」を推進するため、広く関係者の意見を聞く場干潟の造成等の豊かな海づくりが更に推進されることが期待されます。



会議に臨むJF兵庫漁連 山田会長

委員は、京都大学 藤原名誉教授、環境省近畿地方環境事務所長、水産庁瀬戸内海漁業調整事務所長、国交省近畿地方整備局企画部長・港湾空港部長、第五管区海上保安部警備救難部長、播磨灘の沿岸関係市町長、JF兵庫漁連会長、兵庫県環境保全管理者協会会長、兵庫県環境保全課が担当します。

さらに、10月頃には、委員が所属する団体関係者及び漁業関係者としてJF明石浦組合長、JF一宮町組合長、JF兵庫漁連専務によって構成される協議会の下部組織として幹事会が設置される予定です。

（文：JF兵庫漁連指導部）

山田隆義氏が

「環境保全功労者知事表彰」を受賞

「瀬戸内海環境保全特別措置法の 一部改正に係る活動が評価」

ＪＦ兵庫漁連 山田隆義会長（ＪＦ神戸市）は、長年の活動を通じて地球の環境保全と創造に顕著な功績のあった方々を表彰する「環境保全功労者知事表彰」を受賞されました。

山田会長は「ひょうご環境保全連絡会」で副会長を務め、瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するための取組みを始めたほか、大気環境保全や温暖化防止、さらに資源循環等の取組みや環境保全思想の普及活動や意識の高揚等に努められ

「豊かで美しいひょうご」の実現に貢献してこられました。

また、漁獲量減少、ノリの色落ち問題といった海の栄養塩減少に歯止めをかけるべく、長年、ＪＦ兵庫漁連が取り組んできた瀬戸内海環境保全特別措置法の改正に精力的に取り組まれ、国・県のほか瀬戸内海関係漁連・漁協、国会議員等の調整に奔走された結果、昨秋には同法の一部改正の実現に大きく貢献されるなどの功績が認められ、今回の受賞となりました。

表彰式が行われるのは、「環境月間」である6月に毎年開催される県主催「地球と共生・環境の集い」で、今年は3日（金）兵庫県公館にて開催されました。県内各地から集まった大勢の参加者が見守るなか、兵庫県 井戸 敏三知事から授与されました。

（文：兵庫県水産振興基金）



「華姫さわら」をPR!!

～はなつぎ網漁も見学し大盛況～

ＪＦ坊勢（岡田 武夫組合長）では、サワラはなつぎ網漁業で漁獲され、鮮度を保つため、船上で素早く「神経締め（活〆）」を行ったサワラを「華姫さわら」と命名し、PRを図っています。これは、昨年、姫路城の別称から「白鷺鱧」と名付けた八モのブランド化に続く取組みで、はなつぎ網漁の「はな」と姫路の「ひめ」から「華姫」と命名されました。

5月29日（日）には同ＪＦ主催による「華姫さわら祭り」が、ＪＦぼうぜ姫路とれとれ市場をはじめとする妻鹿漁港フィッシュモールで開催されました。会場ではプロの料理人によるサワラの解体ショーや刺身・あぶり・つみれ汁の無料試食が行われ、大盛況となりました。試食をした人はその美味しさに感動したようで、とれとれ市場のサワラの販売数が通常に比べ大幅に伸びたそうです。



また、特別企画としてサワラはなつぎ網漁見学ツアーも行われました。これは、キャンセル待ちが出るほどの人気を博すなか、先



はなつぎ網漁を間近で見ることが出来ました

し込んだ参加者が、はなつぎ網漁の様子を見学した後、同漁協直売所で新鮮な魚介類のバーベキューを楽しむもので、沖での操業の様子や、船上での神経抜きを見学した参加者からは大きな歓声が挙がりました。また、漁場から妻鹿漁港へ帰るまでの間には、一等賞が、直前に漁獲されたサワラ一本というビンゴ大会で、船内は白熱し盛り上がり、とれとれ市場に戻ってからのバーベキューでも、新鮮な魚介類に参加者は大満足の様子で盛況のうちに終了しました。

同ＪＦでは、7月17日（日）に「白鷺鱧まつり」を開催する予定のことです。

このように、兵庫の魚のおいしさや楽しさを、消費者が体感することで魚食文化の継承に繋がりが、兵庫の水産業がさらに盛り上がり、て行くことを願うばかりです。

（文：ＪＦ兵庫漁連広報部）

島内JFの連携を強め、地産地消の推進・浜の活力再生などを図る ～一般社団法人 淡路水交会通常総会 開催～

一般社団法人 淡路水交会

一般社団法人淡路水交会（東根 壽会長・JF淡路島右屋）は、6月3日（金）に、洲本市内のホテルで第6回通常総会を開き、17会員の代表者や県議会、行政機関、系統団体からの来賓出席者ら40名が出席しました。

審議に先立ち、東根会長は「地産地消の推進を通して地魚の鮮魚販売拡大に繋がるように取り組む。瀬戸内法の改正により、今後は豊穰の海を取り戻して漁業者が安心して漁業経営を行うことが出来るように取り組む。浜の活力再生プランの取組みをさらに進めて収益性の高い操業体制と漁家経営の安定に努めるよう、島内JFが連携を密にして取り組んでいく」と挨拶しました。

続いて、兵庫県議会永田秀一議員、山本悦夫淡路県民局副局長、山田峰人JF兵庫信漁連会長がそれぞれ来賓を代表し祝辞を述べられました。総会はJF室津浦連勝也組合長を議長に選出し、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、役員の改選などの議案が原案通り可決承認された後、社領弘副会長（JF一宮町）の閉会の挨拶で終了しました。



「淡路の魚」PRの積極的な展開を確認

「平成28年度淡路地区漁協青壮年部連合会通常総会開催される」

淡路地区漁協青壮年部連合会

通常総会開催される



総会終了後の学習会では、兵庫県立水産技術センター 反田 實参与より「近年の海の変化と漁業」と題した講演がありました。近年、瀬戸内海において言われる貧栄養化の問題について、そのメカニズムと、ノリ養殖だけでなく漁船漁業に与える影響など幅広い内容について分かりやすく講演して頂き、参加者は熱心に聴き入っていました。

5月27日（金）、洲本市内のホテルにおいて、淡路地区漁協青壮年部連合会（17会員 部員計264名）の平成28年度通常総会が開催されました。山崎大輔会長（JF淡路島右屋）の挨拶、来賓紹介に続いて、議事が進められ、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画などの議案が審議・承認されました。新年度事業計画として、栽培漁業・資源管理型漁業の推進、環境保全への取り組みなど7つの項目のうち、特に「淡路の魚」のブランド化を積極的に進めていくことが確認されました。



反田参与の講演の様子

平成28年度 淡路地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

5月28日(土) 淡路水産センターにて、淡路地区漁協女性部連合会(森武美会長・JF福良)の通常総会が開催され、関係者21名が出席しました。

冒頭、森会長は、この春の旭日双光章受章に触れ「この度の受章は私が代表して受け取りましたが、県下女性部会員皆さんお一人お一人が頂いたものと考えている。今後も皆さんとともに女性部活動に励みたい。」と挨拶しました。

この後、(一社)淡路水交会 東根 壽会長、 泉州本農林水産振興事務所 山下 正晶所長 補佐兼課長、 JF兵庫信漁連 里 昭彦専務の来賓挨拶に続いて、議事に移りました。平成27年度事業報告及び収支決算、同28年度事業計画及び収支予算など3議案が審議の後承認され滞りなく終了しました。



挨拶に立つ森会長



学習会の様子

総会の後、真言宗法導寺(淡路市東浦町) 竹原祐乘氏を講師に迎え、「一人にひとつの心の花を咲かせましょつ」をテーマに、人と人とのつながりや縁について学習しました。竹原住職の温かくかつ楽しい語り口によりお話に引き込まれ、大きな声で笑い、竹原住職のギターに合わせ、皆さんで歌を歌って終了しました。「呼吸をすることⅡ生きていくこと」を実感できる楽しい講義で、女性部の皆さんの関心はとても高く熱心に受講されていました。

(文・淡路地区漁協女性部連合会事務局)

平成28年度通常総会が開催しました。冒頭、大西 正起会長(JF伊保)は「昨年度は、魚食普及活動のほか、海上安全講習会、資源管理など、様々な取り組みを行ってきた。今年と同連合会40周年、ガザミふやそう会30周年となる区切りの年であり、今後も、これらの活動に一層力を入れていきたい。」と挨拶しました。総会は、平成27年度の事業報告、平成28年度事業計画の他、「ガザミふやそう会」の報告・事業計画などの議案が審議され、すべて原案



文字どおりビッグな景品に沸いたビンゴ大会



ガザミふやそう会の活動を振り返りました



今後、さらなる活動の展開を誓つ

平成28年度撰津播磨地区漁業協同組合 青壮年部連合会 通常総会

撰津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会

5月21日 通り承認されました。

(土)、兵庫県水産会館において、撰津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会(14会員部員計250名)は、総会後の学習会では、JF兵庫漁連指導部 佐藤泰弘 統括が「兵庫県漁連について」、「ガザミふやそう会について」と題した2講演を行いました。今年30周年を迎えたガザミふやそう会については、同会設立時の映像で当時の活動を振り返りつつ、今日まで活動を継続できた理由や今後の方向性について、参加者は理解を深め、今後の同会の活動に対する意欲を新たにしていきました。

最後に、恒例となったビンゴ大会が行われ、40周年ということもあり、昨年より豪華な賞品が用意されるなか、大いに盛り上がりました。

平成28年度水産多面的機能発揮対策講習会開催

6月3日(金)岡山市で、(公社)全国豊かな海づくり推進協議会が主催する水産多面的機能発揮対策講習会が開催されました。この講習会は、水産庁が実施する「水産多面的機能発揮対策事業」において、水産業が食料の供給以外に担う、環境保全活動や海難救助、国境監視などの多面的機能について、全国から活動組織が集まり、活動実績発表や意見交換を行うもので、平成25年より始まった同事業が2期目に入ることから、全国数力所で開催されています。この日も全国各地から大勢の人が訪れるなか、各地域での取り組み内容の発表や意見交換等が行われました。

講習会では、水産庁担当者より同事業の見直しのポイントなどが説明されたほか、JF全漁連をはじめとする担当者からは、「環境・生態系保全」におけるモニタリングの具体的な手法の説明がありました。また、海と魚の体験研究所大浦佳代代表から「教育・学習の価値と手



干潟部会の様子

法」と題した講演が行われ、漁村で行われる教育・学習プログラムの手法について、様々な取り組み事例を交えて、より効果的な活動方法の提案がなされました。

午後からは内水面・藻場・干潟の3部分に分かれて活動実績報告や意見交換がありました。干潟部会の事例発表では、淡路市地域11活動組織の活動について淡路市水産課川上氏より、干潟保全活動につながる海底耕耘、浮遊堆積物の除去、かいぼり活動が紹介されるとともに、活発な意見交換がありました。

(文：兵庫県水産振興基金)

自民党水産総合調査会再発足

参議院議員「末松信介」氏(兵庫) 副会長に就任 瀬戸内海再生議連事務局長につづく活躍期待

自民党の水産総合調査会は5月25日(水)、党本部で再設置後、初の役員会を開き、今後の方向性などが確認されました。会長に就任した浜田靖一衆議院議員は「先の水産部会です承された水産物輸出拡大対策など諸対策について、水産部会と連携し「フォローアップしてゆく」と役割を示され「先生方には、常に問題意識を持って頂き、調査会が機能発揮できるようお力添えをお願いしたい」と挨拶された。瀬戸内海環境保持法の一部改正にあたり、瀬戸内海再生議連の事務局長として大活躍頂いた末松信介参議院議員は、同調査会の副会長に選任され、先の水産部会会長に続いて、今後の水産政策や予算対策に一層のご尽力を期待するところです。また、本県5区選出の谷公一衆議院議員も副会長に選任されており、今後の漁業振興に向けて両議員のご活躍が期待されます。なお、この調査会は設置された後、自民党が野党になったため活動を休止していましたが、TPP対策や水産物輸出対策など、水産業再生に向けて、より総合的に専門的に水産政策を検討するために再設置されたものです。国の重要施策の根幹を審議するこの調査会に関心をもって臨み、必要な対応も図りたいものです。



瀬戸内海再生議連では事務局長として手腕を発揮された末松議員今後も活躍が期待されます

(U/T)

ガザミふやそう会

今年、 創立30年を迎えました！ 会員募集！！

「ガザミふやそう会」(大西 正起 会長)は、県内漁業者、JF、系統

団体のほか、一般市民や他県の水産関係者からの会費によって、抱卵ガザミを買い上げ、自然の力でガザミ資源を増強しようという取組みを、昭和61年から継続して行っています。

今年も同会の会員募集が始まりました！是非ご入会下さい！！

※同会は抱卵ガザミのほか、期間・時期を問わず、①甲幅長12センチ以下のガザミ、②脱皮直後の柔らか甲羅ガザミの再放流も行っています。

※抱卵ガザミの保護期間は毎年5月1日～9月30日までで、対象海域は大阪湾・播磨灘としています。



今年のポスターを持つ大西会長



会費・入会に関して

- ・会費は1,000円/年です。
- ・会員の証として、オリジナルQUOカード(500円分)をお渡ししています。
- ・詳しくはJF兵庫漁連ホームページまで。

【事務局】

〒675-0163 加古郡播磨町古宮字堀坪1-4 JF兵庫漁連のり流通センター内
JF兵庫漁連のり海藻事業本部資材部 ガザミふやそう会事務局
TEL: 078-942-9272 FAX: 078-942-9340

明石市商工会議所議員に対し漁業の役割について講演

5月9日 (月) 明石商

工会議所主催の「平成28年

度明石商工会議所 第1回

議員懇談会」

における研修

会で、JF明

石浦 戎本裕

明組合長が

「漁業が果た

す役割」漁

師は海の防人

」と題した

講演を行いました。

講演は、マグロ、イカナ

ゴ、ノリを中心とした明石の

海で獲れる水産物の話から始

まり、近年、ノリの色落ちが

発生するようになったり、川

から流れ込む砂の量が少なく

なったりしている現状から、

海の栄養塩の役割と必要性に

ついて解説しました。また、

「きれいな海は豊かな海？」

として、昨年9月に国会で成

立した瀬戸内海環境保全特別

措置法の一部改正に触れ、漁

師が環境のため、食育のため

に現在行っている取り組みの

内容を紹介しつつ、国境警備、

食料自給率向上、環境保全を

担う漁業者の役割を「3つの

海の防人」として講演しました。

質疑応答で

は、明石の浜

で揚がる「ま

えもん」につ

いて質問があ

り、戎本組合

長は「価格が

高いと言われ

るが、経費や

手間が掛って

おり我々は安

いと思っています。

魚の価値をいかに見出し

てもらい、このギャップをい

かに埋めるかが課題」とされ

ました。「明石浦(活け)」

に対する質問では「元は魚屋

から教わった技術。東京に出

荷した際、その違いや価値を

分かってもらった」と具体的

な事例を交えて話され、集

まった約70名参加者は漁業の

現場の話に興味深く聞き入っ

ていました。

最後に、戎本組合長は「明石市観光協会とおして、明石浦のセリの様子を見学できる。昨年は約800人を受け入れた。是非利用して頂きたい」とPRをして終了しました。(文：兵庫県水産振興基金)



漁網の切断事故が続いています！

第五管区海上保安本部交通部安全対策課
神戸海上保安部航行安全課

昨年、大阪湾内で、航行中の貨物船等が2そう曳き漁船の網を切断する等の事故が5件発生しています。

漁網切断事故は、転覆海難につながる恐れがあります！！

※万々に備えライフジャケットを着用！

- ・ 操業中も常時適切な見張りをお願いします。
- ・ 通航船（貨物船等）の可航水域を確保してください。
- ・ 手船を活用して通航船に漁網の位置を知らせる等、安全操業に十分留意して下さい。

①

発生日時	平成27年3月4日午前6時40分頃
発生場所	兵庫県須磨沖
概要	内航貨物船498トンが、阪神港神戸区向け航行中、袖網及び袋網揚収用のロープを切断。



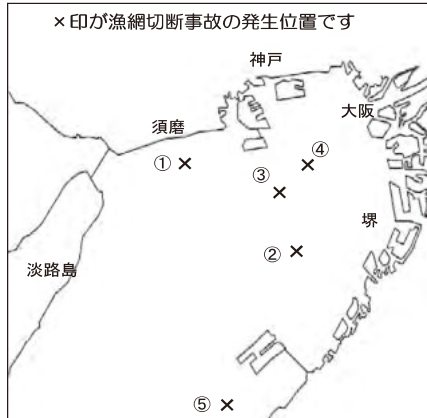
海の安全情報（沿岸域情報提供システム）

スマートフォン用バーコード

パソコン用アドレス <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



安全に関する情報は海の安全情報から入手できます！



②

発生日時	平成27年6月15日午前6時25分頃
発生場所	大阪府堺沖
概要	外航自動車運搬船60,401トンが阪神港堺泉北區向け航行中、袖網等を切断。

③

発生日時	平成27年6月16日午前8時30分頃
発生場所	兵庫県神戸空港沖
概要	外航ケミカルタンカー7,912トンが阪神港大阪區向け航行中、袋網揚収用のロープを切断。

④

発生日時	平成27年6月22日午前7時頃
発生場所	兵庫県神戸空港沖
概要	外航コンテナ船9,443トンが阪神港大阪區向け航行中、袖網等を切断。

⑤

発生日時	平成27年12月7日午前7時頃
発生場所	大阪府関西国際空港沖
概要	プレジャーボート4トンが南西向け航行中、袖網等に絡網。

大輪田塾 第12期生 募集しています。

平成17年に開講された「大輪田塾」は、めまぐるしく変化する社会・経済情勢に対応し、将来にはJF組織を支えていける人材、つまり「浜のリーダー」育成を目的に始まったもので、多くの修了生が、JF組合長・理事などを務め、地域のリーダーとして活躍されています。

講義は、県・系統団体をはじめ多彩な講師陣による月1回の座学を中心に、外部研修や事務局が適当と認めた会議等も聴講できるといった幅広い知識の習得が可能なカリキュラムを組んでいます。



乾しノリ合同検査現場の視察（H 28.3）



水産会館での講義の様子

大輪田塾では、現在、今秋入塾される第12期生を募集しています。皆様のご応募をお待ちしております。

◎応募資格

①原則として、漁業歴10年以上かつ45歳未満

②原則として、JF職員歴10年以上かつ45歳未満

のいずれかに該当する者で、所属する組織代表者の推薦を受けた者

◎在籍年限

原則2年（最長3年）

募集は8月末まで。その後、面接を行い、運営委員会の選考を経て、10月（予定）に入塾式を行います。（詳しい募集要領は各JF・団体宛に通知させていただきます。）



問合せ先（事務局）（一財）兵庫県水産振興基金

〒673-0883 明石市中崎1丁目2-3 TEL 078-919-1331

「命を守る運動海上安全講習会」は、
「命を守る運動担当者会議」を開催

「命を守る運動海上安全講習会」は、県内JFと系統5団体（JF兵庫漁連・共水連兵庫県事務所・兵庫県内海漁船保険組合・ひょうご豊かな海づくり協会・兵庫県水産振興基金）が関係行政機関の協力を得て行っており、毎年、各団体の担当者が集まり、今後の活動等について話し合う機会が持たれています。

今年度は5月19日（木）水産会館で担当者会議が行われ、今後の活動について意見交換を行いました。会議では、前年度の活動報告や、今



漁船へのAIS設置事例について話を聞きました

年度の活動予定として小型漁船におけるライフジャケット常時義務化に向けた方針を国が定めることが予想されるなか、今後の着用推進の方法など様々な意見が出され、活発な議論がありました。

また、話題提供として水産大学校海洋生産管理学科の松本 浩文講師より「漁船へのAIS設置の取組みについて」と題し、近年、淡路地区で行われている漁船へのAIS（自動船舶識別装置）設置から得たデータを基に、利用の有効性や今後の課題について話がありました。（文：兵庫県水産振興基金）

海難事故をなくそう!

ライフジャケットを着用しよう!

固型式ライフジャケットはメンテナンスの手間がなく、最近のものは動きやすいように工夫されています。なお、着用の際は体に合ったサイズを選ぶか、金具等を調整して使用しましょう。



固型式ライフジャケット
 モデル：兵庫県漁協 青壮年部連合会 山崎 大輔会長（JF淡路島岩屋）

～安全をサポート～ 浮力合羽はお持ちですか？

JF兵庫漁連が開発したもので、浮力は十分あります。
 ※ライフジャケットではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。

浮力は十分あり!



モデル：兵庫県農林水産局水産課漁政班 漁業管理担当 齋藤 公司さん

ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連資材部（078-942-9272）までお問い合わせください

「第60回通常総会」を開催 委員長に井上幸一さん

兵庫県農協青壮年部協議会

兵庫県農協青壮年部協議会は、若手農業者で構成された県内5つのJA青壮年組織で構成されており、盟友(会員)数は187人です。同協議会は、相互協力して情報交換や学習活動を行い、安定した農業経営の確立や地域社会に根ざした活動に取り組んでいます。

同協議会は、4月26日、兵庫県農業会館で「第60回通常総会」を開催し、平成27年度の活動報告や28年度の活動計画など4議案が全て承認されました。

28年度の重点項目として、農業経営に関する学習活動、農政問題の共有が挙げられ、学習活動としては、新規就農者の支援・盟友同士の情報交換などを目的とした盟友マップを作成することにしました。

また、役員改選が行われ、新委員長に井上幸一さん(JA兵庫南青壮年部会)、副委員長に植田博成さん(JAたじま青壮年部)、監事に村上貴史さん(西神戸農業経営者協議会)がそれぞれ新たに選出されました。

井上委員長は「新役員と県内のJA青壮年組織盟友の皆さんと共に、県内組織活動強化にベストを尽くしたい」と今後の抱負を語りました。



新たに就任された上委員長(中央)、植田副委員長(左)、村上監事(右)

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

“もとまちハートミュージアム 2016” を開催

～人つなぐ道、たどりつづけて12年～

近畿労働金庫兵庫地区統括本部では、4月1日(金)～5日(火)「もとまちハートミュージアム2016」を開催。障がいがある人もない人も、高齢者も子供も当たり前に関わる福祉コミュニティの形成を目指して、障がい者団体・神戸元町商店街・NPO・福祉事業団体等で構成する実行委員会が企画を行い、今回で12回目となりました。

障がい者アート作品「ドギドギ展」、コンサート「もとまちウキウキ」では、今回も多くのパワーあふれる作品や演奏が披露されました。また、作業所製品ワゴンセールでは、丁寧に縫製されたトートバッグや小物、手作りのお菓子、東日本大震災の被災作業所の製品などを販売し、売る人と買う人のコミュニケーションで楽しく賑わいました。

作業所の皆さんは新商品の開発にも意欲的に取り組んでおられ、その営みを披露するのも、このイベントの大切な目的。新作「オリジナルフォトフレームキット」を使ったワークショップは、親子連れや女性に大好評で順番待ちに。クマヤハート、花、星などに切り取られた革のパーツを自由に木製フレームに貼り付けるとオリジナル写真立てが完成します。ワークショップ「WAKKUNと絵を描こう」では、自ら書いた墨絵イラストを自作の写真立てに飾り楽しそうな親子の笑顔が印象的でした。

お花見日和のなか、多くの方に会場の元町商店街にお越しいただき、障がいがある人も無い人も、作品・演奏の鑑賞やワークショップの体験で自由に自分を表現し、楽しい一日を過ごしました。



「WAKKUNと絵を描こう」真っ黒に塗りつぶす子ども。エネルギー!



▶ワゴンセールもコミュニケーションの場に

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子



食べちゃいけない

◆ 農薬とは、害虫や病原菌を殺したり雑草を枯らしたりする毒薬である。当然、安全性が問われるし、発ガン性や変異原性も考慮し、残留農薬が基準値を越えないよう留意が要る。戦後、BHCやDDTを使ったが、発ガン性ありと判って、慌てて使用禁止になった。これに類似した塩素を含む有機化合物も、分解され難い事で使えなくなつたため、代替の有機リン系化合物が多少は分解され易い所から今も使用善しとしている。散布中に吸い込んだり、残留農薬の野菜や果物を摂取すれば、気付かずにアレルギー体質になつたりする。怖い薬だ。

◆ 賞味期限の年月日表示は、十分なゆとりを取って期間を定めてあるため、少し期限を過ぎていても平気で食べたりする。冷蔵庫で賞味期限が大幅に過ぎたベーコンを見つけ、火を入れてサラダに混ぜて食べた。其の夜は特に異常無く、翌朝も少しパンに挟んで食べたが、別に異常が無い。期限過ぎの食品は危ないと思つたが、少し時間が経って猛烈な胃痛がきた。居ても立っても居られず、洗面所で無理に嘔吐し、胃を空っぽにして少し気分は良くなった。直ぐに征露丸を服んだ。

◆ スーパーやコンビニで弁当を買う機会が増えた。手軽で便利のため、菜園での昼食に利用しているが、表示の原材料は大いに気になる。食品添加物の着色料や保存料等は少ないに越したことはない。食品添加物のうち化学合成したものに毒性の強いものが多いらしいが、殺菌料の次亜塩素酸ナトリウムは茶匙一杯でヒト推定致死量になる。それぞれの毒性については、動物実験により半数が死亡する投与量を数値化、毒性判断の基準としている。着色料に使う赤色二号は、今は化学合成しているが当初はコaltarを原料としたからタール系色素と呼んだ。発ガン性が疑われつつも、水菓やかき氷シロップに使われ、亜硝酸ナトリウムは美しい色合いを保つのに絶好の素材だから、ハムやベーコンのピンク色を保つのに使われている。これも発ガン性が疑われているのであるが…。

◆ 日本の食料品の六割は、輸入に依存している。その膨大な量を全品検査していたら流通に間に合わない。野菜も果物も殺菌剤や除草剤が付着したままの品も多いらしい。中国産ホウレンソウから残留農薬が検出され、毒菜だと叩かれていたが、国内産野菜も多くの農薬を使つており、薬剤の使用量は世界一多いともいう。最近、有機栽培に切り替える農家も多いと聞くが、化学肥料を多く使えば、野菜に含まれる硝酸性窒素が高濃度になるのは当然の結果であらう。

大輪田塾だより

「漁業法」と「賀川豊彦」

24日(火)に行われた大輪田塾5月講座では、「漁業法概要」、「賀川豊彦の思想と業績」の2講義が開講されました。

「漁船法概要」では県水産課 米澤 孝康氏が講師となり、漁船の定義をはじめ、同法の内容、考え方について学んだほか、漁船の登録や検認など身近な内容まで幅広い内容で講義をされました。

「賀川豊彦の思想と業績」では、賀川記念館 西義人参事が講義を担当されました。国内の多くの「協同組合」の設立に関わられた賀川氏の生い立ち、活動の経緯とその内容について



賀川豊彦について話す西参事

話された後、西講師のこれまでの協同組合活動における体験も交えて、協同組合の目指すべき姿などを話されました。我が国における協同組合運動の父と呼ばれる賀川豊彦氏ですが、その名前を初めて聞く塾生も少なくなく、塾生は今までと違った分野の知識を深めることが出来たようです。



初めて講師を務める米澤氏の講義